

Panasonic DV@Talk SP Ver.1.0J

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なおきにお読みください。

お願い

ユーザー登録につきましては、下記 URL(パナソニックビデオのホームページ)でオンライン登録を受け付けております。

パナソニックビデオのホームページ

<http://www.panasonic.co.jp/avc/video/>

はじめに

特長	3
ご使用前に	4
動作環境	4
確認事項	4
DV@Talk SP のインストール	6
快適にお使いいただくために	7
DV@Talk の起動前に必要な設定	7
DV@Talk に必要な設定	7
その他	8

使ってみよう

アクセスする	9
用意するもの / 使用するための条件	9
ビデオカメラとパソコンの接続	9
アクセス方法	10
A-a ダイアルアップネットワークを 使用する場合(プロバイダー経由)	11
A-b 専用接続ソフトウェアを使用する 場合(プロバイダー経由)	13
B 相手の IP アドレスを直接入力 してアクセスする場合(主に LAN など、ネットワーク内での 使用時)	15
通話する	17
とりあえず通話してみる	17
通話 / DV@Talk を終了するときは	17
送信映像(画像)にフレームを つけたいとき(フレーム)	18
送信映像として画像をはりこむとき (キャラクター)	18
文字だけで通話したいとき(チャット)	19
絵や文字を描いて通話したいとき (ホワイトボード)	20
ファイルを転送したいとき	21
送信する映像(画像) / 音声について	22
受信する映像(画像) / 音声について	22
録画した映像(画像)を送る	23
映像(画像)の送信をやめるときは	23
ビデオカメラを DV@Talk から操作する	24

便利な機能

アクセスメンバーを登録する	26
---------------	----

その他

画面について	27
[相手の画面]ウィンドウ	27
[自分の画面]ウィンドウ	28
こんなときは・・・(Q&A)	29
用語解説	30
索引	30
使用許諾書	裏表紙

最初にお読みください

Microsoft®Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Intel®、Celeron™ は Intel Corporation の商標または登録商標です。

その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。

本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。

お使いのパソコンの使用環境などにより本説明書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがありますので、あらかじめご了承ください。

パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。

このPDF説明書では、本ソフトウェアを「DV@Talk」と略して記載しています。

ただし、正式名称を明記した方が良い場合には「DV@Talk SP」としてしています。

このPDF説明書では、デジタルビデオカメラを「ビデオカメラ」と略して記載しています。ただし、デジタルビデオカメラであることを明記したほうが良い場合には「デジタルビデオカメラ」としてしています。

特長

このDV@Talk SP は、DV@Talk 製品版をお持ちの方と通話していただくための専用ソフトウェアです。DV@Talk SP 同士での通話できません。

DV@Talk とは

お手持ちのデジタルビデオカメラとインターネットを使って、全国 全世界どこでもテレビ電話のように相手の顔や声を確認しながら、通話できるソフトウェアです。デジタルビデオカメラをお持ちでない場合も、チャットなどでお楽しみいただけます。

(プロバイダーへの接続料金と電話料金が必要です)

リアルタイム動画通信

テレビ電話のように、ビデオカメラに映っているリアルタイム映像を相手に送って通話することができます。音声もビデオカメラのマイクを通して送られます。

静止画通信

動画だけでなく、カードのメモリー画像などの静止画も送ることができます。

オリジナル画像をキャラクターに活用

デジタルスチルカメラなどで撮影された画像など、JPEGやビットマップ形式のオリジナル画像をキャラクター画像(P18)として使用できます。

ビデオカセットテープ動画通信

ビデオカメラで記録した映像を送ることができます。

通話相手のビデオカメラの制御機能

通話先のビデオカメラを操作することができます。

リアルタイム文字通信(チャット)

文字入力によるリアルタイムの通信がお楽しみいただけます。

MSN Messenger Service・NetMeeting との連動性

DV@Talk は MSN Messenger Service や NetMeeting と連動して動作するソフトウェアです。

DV@Talk をお楽しみいただくには、MSN Messenger Service でサインインした状態であることが必要になります。

サインインに関しては MSN Messenger Service のヘルプファイルをお読みください。

具体的な DV@Talk のアクセス方法については後述しています。

ご使用の前に

本ソフトウェアをお楽しみいただく前に、説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

動作環境

DV@Talkをインストールしてお使いいただくには、パソコンに以下の環境が必要になります。

ただし、推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

対象 OS:	プリインストールされた Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版、および Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版
CPU:	Intel® Celeron™ プロセッサ 333MHz 以上推奨
ハードディスク:	15MB 以上の空き容量(インストール)
搭載メモリー:	64MB 以上
ビデオ:	800 × 600 以上 /High Color(16bit)以上
サウンド:	サウンドカード
インターフェース:	IEEE1394 端子(i.LINK 端子)
必要なソフトウェア:	MSN Messenger Service 3.0 以上(Microsoft 社) NetMeeting 3.01 以上(Microsoft 社) Direct X 7.0 以上(Microsoft 社)

確認事項

下記のソフトウェアがパソコンにインストールされていることをご確認ください。

DV@Talkは下記のソフトウェアと連動して動作するソフトウェアです。

Microsoft社のMSN Messenger Service 3.0以上

Microsoft社のNetMeeting 3.01以上

Microsoft社のDirect X 7.0以上

もし、パソコンにインストールされていない場合は、Microsoftのホームページからダウンロードしてください。

いずれのソフトウェアもダウンロードは無料です。(ただし、プロバイダーへの接続料金と電話料金は別途必要です)

Direct X 7.0以上がインストールされているかどうかの確認方法

- 1 [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選び、[dxdiag.exe]と入力して[OK]を押す
[DirectX診断ツール]画面が表示されます。
- 2 [システム]タブが選ばれていることを確認し、[DirectXバージョン]の項目でインストールされているDirect Xのバージョンを確認してください。

MSN Messenger Service・NetMeetingらを初めて起動したときや、これらのソフトウェアを新たにインストールしたとき、また、NetMeetingで必要な設定をする前にDV@Talkを起動したときなどに次ページのような設定が必要になる場合があります。

設定についての詳しい説明は、それぞれのヘルプファイルをお読みください。

ご使用の前に (つづき)

本ソフトウェアをお楽しみいただく前に、説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

確認事項 (つづき)

設定は一度行くと、二回目からは同じ設定をする必要はありません。

MSN Messenger Serviceの場合

MSN Messenger Serviceを始めて起動したときなどに、セットアップ画面が表示されます。



表示されている内容をよく読んで先へ進む



サインイン名とパスワードを入力する

hotmailアドレス、またはパスポートの取得が必要です。



表示されている内容をよく読んで進み、設定を完了する

バージョンアップの画面が表示されるときがありますが、MSN Messenger Service 3.0以上をお使いの場合は、バージョンアップをしていただく必要はありません。

NetMeetingの場合

次の場合にセットアップ画面が表示されます。
NetMeetingで必要な設定がまだ行われていない状態で、初めてDV@Talkを起動したとき
NetMeetingを初めて起動したとき



ユーザー情報などを入力する



表示されている内容をよく読んで先へ進む



([オーディオ調整ウィザード]画面が表示されます)

表示されている内容をよく読んで先へ進む



デジタルビデオカメラを接続される場合は、WAVEデバイスの選択では[録音]のデバイスを選択する

[Panasonic DV VideoCamera]にする

[Panasonic DV VideoCamera]を選べない場合は、次ページの「DV@Talkの起動前に必要な設定」を行ってください。



この後は特に何も設定せず、[次へ]を数回クリックして設定を完了する

音声・音量などに関する設定は次ページをお読みください。

NetMeetingが起動した場合は、NetMeetingを終了してください。

デジタルビデオカメラを接続される場合で、[標準のビデオキャプチャデバイス]を選択する画面が表示されたときは、[Panasonic DV VideoCamera]を選んでください。



DV@Talk SP のインストール

DV@Talk SPをインストールします。

インストールする前に、DVケーブルをパソコンから抜いておいてください。

Panasonicのダウンロード用ホームページからダウンロードされた[DVTSPset.exe]をダブルクリックする

インストールの確認画面が表示されます。

[はい]をクリックする

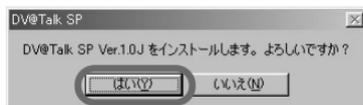
DV@Talk SPの使用許諾書が表示されますので、内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする

セットアップが始まります。

セットアップの終了後、[完了]をクリックする

インストールが完了します。

DV@Talkをお使いいただくには、一度再起動していただく必要があります。



DV@Talk SPをアンインストールするときは

DV@Talk SPが不要になったときは、以下の方法でアンインストールを行います。

- 1 [スタート] [設定] [コントロールパネル]から[アプリケーションの追加と削除]を開く
- 2 [DV@TalkSP]を選んで[追加と削除]をクリックし、アンインストールを進める

アンインストール完了後、[OK]をクリックして画面を閉じます。



お願い/ヒント

インストールを実行時に[DVTSPset.exe]がない場合は、Panasonicのダウンロード用ホームページからダウンロードしてください。

ダウンロード用ホームページのURL :

<http://www.panasonic.co.jp/avc/video/support/soft.htm>

インストール中にドライバーの場所が不明としてメッセージ画面が表示される場合は、画面中の[参照]をクリックしてそのまま[OK]をクリックしてください。メッセージ画面に戻ったところで、再度[OK]をクリックしてください。

上記のドライバーのメッセージ画面以外のメッセージが出た場合は、表示された内容にしたがってください。

快適にお使いいただくために

DV@Talk を快適にお使いいただくために、以下の条件や設定が必要です。

DV@Talk の起動前に必要な設定

デジタルビデオカメラを接続される場合にのみ必要な設定です。

- 1 タスクバーの  アイコンを右クリックして[オーディオのプロパティの調整]を選び、[オーディオのプロパティ]画面を出す
- 2 [優先するデバイス]で[Panasonic DV VideoCamera]を選ぶ



DV@Talk に必要な設定

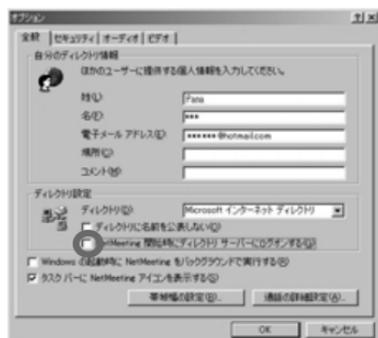
- 1 DV@Talkを起動する
起動方法は以下の2つです。
デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックする
[スタート] [プログラム] [Panasonic] [DV@Talk] [DV@TalkSP(無料配布版)]を選ぶ
- 2 DV@Talkの[ツール] [オプション]で、オプション画面を表示させる



表示されたオプション画面で、以下の設定を行ってください。

全般

[ディレクトリ設定]で、[NetMeeting開始時にディレクトリサーバーにログオンする]のチェックをはずしておく



オーディオ

[全般]で、[改良されたオーディオパフォーマンスの DirectSound を使用する]のチェックをはずしておく



[オーディオ調整ウィザード]で、再生時の音量やマイク音量などを設定することができます。

快適にお使いいただくために (つづき)

DV@Talk を快適にお使いいただくために、以下の条件や設定が必要です。

DV@Talk に必要な設定 (つづき)

ビデオ:

[ビデオの送受信]で、[通話の開始時に自動的にビデオ送信/受信を開始する]にチェックを入れておく
[ビデオカメラのプロパティ]で、[使用するビデオキャプチャーカード]が[Panasonic DV VideoCamera]であることを確認する

USBカメラなどをお使いの場合は、該当するビデオキャプチャーカードなどを選んでください。

ただしその場合は、フレームやキャラクター画像の表示はできません。

[プレビュービデオウィンドウで鏡像を表示する]にチェックが入っているときは、送信映像ウィンドウの映像が左右反転して鏡像になります。

ただし、相手には通常の映像が送られます。



その他

ダイヤルアップネットワークを使ってインターネットのプロバイダーへ接続する設定をしておかれることをおすすめします。

ダイヤルアップネットワークの設定については、お使いのWindowsのヘルプファイルをお読みください。

アクセスしたい相手をあらかじめMSN Messenger Serviceでメンバーとして登録しておくとう便利です。(P26)

お願い/ヒント

DV@Talkを終了するとき、[相手の画面]ウィンドウの[通話] [DV@Talkの終了]を選んでソフトウェアを終了してください。

アクセスする

通話したい相手にアクセスします。

用意するもの / 使用するための条件

DV@Talkをお楽しみいただくために、以下のものをご用意ください。

パソコン(別売)

デジタルビデオカメラ(別売)(機種によっては、制御できない場合があります)

DVケーブル(別売)

ヘッドホン(別売)

また、以下の条件を満たしておいてください。

通話したい相手のパソコンにDV@Talk製品版がインストール、およびセットアップされていること。

インターネットに直接ダイヤルアップ接続できる状態であること。

または、

アクセスしたい相手と同じネットワーク上(LAN内)にいること。

Microsoft社のMSN Messenger Service 3.0以上/NetMeeting 3.01以上/Direct X 7.0以上がインストール済みであること。(P4)

アクセスしたい相手を、あらかじめMSN Messenger Serviceでメンバーとして登録しておくとう便利です。(P26)

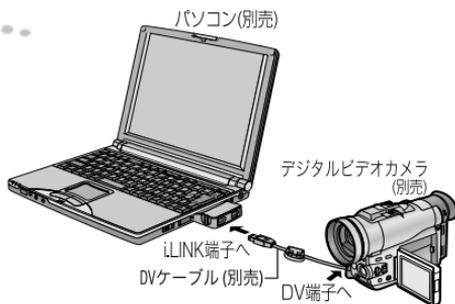
重要

インターネットのプロバイダーを経由する場合(P11・13)でも、サーバーやルーターを介して接続すると、正しくアクセスできない場合があります。(MSN Messenger Service上のオンライン表示やインスタントメッセージの送受信は可能ですが、DV@Talkでは相手と接続できません)

また、ケーブルテレビ回線を利用してインターネットに接続する場合や、直接プロバイダーにダイヤルアップ接続する場合でも、ご利用のプロバイダーがグローバルIPを供給していない場合は正しくアクセスできません。グローバルIPに関しては、ご利用のプロバイダーに直接お問い合わせください。

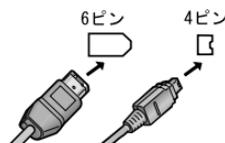
ビデオカメラとパソコンの接続

映像(画像)や音声を送信してテレビ電話のようにお楽しみいただくためには、図のようにパソコンとビデオカメラをDVケーブル(別売)で接続する必要があります。



お願い/ヒント

DVケーブルは、パソコンの端子の形状に合わせてお選びください。



アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法

DV@Talk を使って相手にアクセスするには、以下の方法があります。

A インターネットのプロバイダーを経由してアクセスする場合(P11・13)

- a) ダイヤルアップネットワークを使用する場合
- b) ダイヤルアップネットワーク以外の専用接続ソフトウェアを使用する場合

B 相手の IP アドレスを直接入力してアクセスする場合(主に LAN など、ネットワーク内での使用時)(P15)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合 (プロバイダー経由)

ビデオカメラを
パソコンに接続

DV@Talk を起動

ダイヤルアップネットワークで
プロバイダーへ接続

MSN Messenger Service が起動

アクセスする相手を選んで「招待」

START

A-b 専用接続ソフトウェアを使用 する場合 (プロバイダー経由)

ビデオカメラを
パソコンに接続

専用接続ソフトウェアで
プロバイダーへ接続

MSN Messenger Service が起動

アクセスする相手を選んで「招待」

DV@Talk が自動的に起動

START

B 相手の IP アドレスを直接入力 してアクセスする場合

ビデオカメラを
パソコンに接続

DV@Talk を起動

IP アドレスを直接入力

START

アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合(プロバイダー経由)

パソコンの電源を入れ、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。
ヘッドホンをパソコンのヘッドホン 端子につないでください。

1 アクセスする(招待する)側

DV@Talk を起動する

起動方法は以下の2 つです。

デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックする

[スタート] [プログラム] [Panasonic]
[DV@Talk] [DV@TalkSP(無料配布版)]
を選ぶ



2 アクセスする(招待する)側

[接続]をクリックする

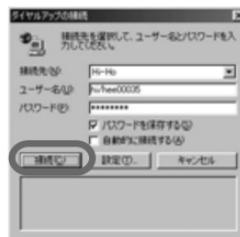
[ダイヤルアップの接続]画面が表示されます。



3 アクセスする(招待する)側

接続先を確認して、[接続]をクリックする

プロバイダーへの接続が開始されます。



4 アクセスする(招待する)側

MSN Messenger Service が自動的に起動し、サインインが始まります。

[オンライン]中からアクセスする相手を選び、**右クリック**で[招待] [Panasonic DV@Talk]を選ぶ

MSN Messenger Service が自動的に起動しない場合は、 をクリックして起動させ、サインインしてください。



アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合(プロバイダー経由) (つづき)

5 招待された側

「Pana があなたを招待しています」というメッセージが画面右下に表示されます。

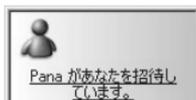
メッセージをクリックする



インスタントメッセージ画面があらわれ、確認メッセージが表示されます。

[承諾]をクリックする

DV@Talk が自動的に起動します。



6 アクセスする(招待する)側 招待された側

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスする(招待する)側が[はい]をクリックする

ビデオカメラに映っているリアルタイム映像が、[相手の画面]ウィンドウと[自分の画面]ウィンドウ両方に映ります。

[いいえ]をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、11ページの手順2 からやり直してください。



アクセスする(招待する)側の画面



招待された側の画面

[相手の画面]ウィンドウ



招待された側の映像(画像)が映ります

[自分の画面]ウィンドウ



招待する側の映像(画像)が映ります

お願い/ヒント

NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。(P5)

手順4で、MSN Messenger Serviceの[ツール] [招待する] [Panasonic DV@Talk] [その他]を選び、相手の電子メールアドレスを入力する方法もあります。入力する電子メールアドレスは、相手がMSN Messenger Serviceに登録しているアドレスを入力してください。

手順4で、相手をNetMeetingで招待した場合、ビデオカメラでの通信はできません。

相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。

手順5でアクセスを拒否したいときは、[辞退]をクリックしてください。

DV@Talkの起動には、少し時間がかかる場合があります。

ヘッドホンを使用しなくても相手側の音声は聞こえますが、聞きづらい場合があります。

アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

A-b 専用接続ソフトウェアを使用する場合(プロバイダー経由)

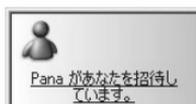
パソコンの電源を入れ、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。
ヘッドホンをパソコンのヘッドホン端子につないでおいてください。

1 アクセスする(招待する)側 ご利用のプロバイダーへ接続する

2 アクセスする(招待する)側 MSN Messenger Serviceを起動して[オンライン]中からアクセスする相手を選び、右クリックで[招待] [Panasonic DV@Talk]を選ぶ



3 招待された側 「 があなたを招待しています」というメッセージが画面右下に表示されます。 メッセージをクリックする



↓
インスタントメッセージ画面があらわれ、確認メッセージが表示されます。

[承諾]をクリックする

招待した側と招待された側両方で
DV@Talk が自動的に起動します。



次ページへつづ

お願い/ヒント

NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。(P5)

手順2で、MSN Messenger Serviceの[ツール] [招待する] [Panasonic DV@Talk] [その他]を選び、相手の電子メールアドレスを入力する方法もあります。

入力する電子メールアドレスは、相手がMSN

Messenger Serviceに登録しているアドレスを入力してください。

手順2で、相手をNetMeetingで招待した場合、ビデオカメラでの通信はできません。

相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。

手順3でアクセスを拒否したいときは、[辞退]をクリックしてください。

アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

A-b 専用接続ソフトウェアを使用する場合(プロバイダー経由) (つづき)

4

アクセスする(招待する)側

招待された側

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスする(招待する)側が[はい]をクリックする

ビデオカメラに映っているリアルタイム映像が、[相手の画面]ウィンドウと[自分の画面]ウィンドウ両方に映ります。

[いいえ]をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、13ページの手順2 からやり直してください。



アクセスする(招待する)側の画面



招待された側の画面

[相手の画面]ウィンドウ



招待された側の映像(画像)が映ります

[自分の画面]ウィンドウ



招待する側の映像(画像)が映ります

お願い/ヒント

DV@Talk の起動には、少し時間がかかる場合があります。

ヘッドホンを使用しなくても相手側の音声は聞こえますが、聞きづらい場合があります。

アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

B 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合(主にLANなど、ネットワーク内での使用時)

パソコンの電源を入れ、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。

ヘッドホンをパソコンのヘッドホン端子につないでおいてください。

1 アクセスする側

アクセスされる側

DV@Talk を起動する

起動方法は以下の2つです。

デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックする

[スタート] [プログラム] [Panasonic]
[DV@Talk] [DV@TalkSP(無料配布版)]
を選ぶ



2 アクセスする側

[通話] [相手先IPアドレス]を選ぶ

相手先IPアドレス入力画面が表示されます。



3 アクセスする側

アクセスする相手のIPアドレスを入力し、
[OK]をクリックする



次ページへつづ

お願い/ヒント

NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。(P5)

相手がDV@Talkを起動していない場合はアクセスできません。

自分のIPアドレスは画面メニューの[ヘルプ]
[バージョン情報]を選ぶと調べることができます。(P27)

アクセスする (つづき)

通話したい相手にアクセスします。

アクセス方法 (つづき)

- B** 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合(主にLANなど、ネットワーク内での使用時)
(つづき)

4

アクセスする側 アクセスされる側

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスされる側が「はい」をクリックする

ビデオカメラに映っているリアルタイム映像が、[相手の画面]ウィンドウと[自分の画面]ウィンドウ両方に映ります。

「はい」をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、15ページの手順2からやり直してください。



アクセスする側の画面



アクセスされる側の画面

[相手の画面]ウィンドウ



アクセスされる側の映像(画像)が映ります

[自分の画面]ウィンドウ



アクセスする側の映像(画像)が映ります

お願い/ヒント

相手がネットワーク上にいない場合はアクセスできません。

ヘッドホンを使用しなくても相手側の音声は聞こえますが、聞きづらい場合があります。

通話する

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

とりあえず通話してみる

通話したい相手にアクセスしておく (P9 ~ 16)

1 ビデオカメラのマイク部分に向かって会話する

音声はパソコンのスピーカーから聞こえます。

通話 / DV@Talk を終了するときは

- 1 [相手の画面]ウィンドウの[切断]をクリックして接続を切る
- 2 [相手の画面]ウィンドウの[通話] [DV@Talkの終了]を選ぶ

DV@Talk が終了します。

インターネットの接続を切断するかどうかの確認画面が表示されます。切断する場合は[はい]を、そのまま接続を維持する場合は[いいえ]を選んでください。



お願い/ヒント

ビデオカメラは撮影モードにしておいてください。

テレビ電話のようにお使いになる場合は、ビデオカメラのレンズに送信したい対象が映っていることを確認してお使いください。

送受信される映像と音声は、3秒ほどずれる場合があります。

通話する (つづき)

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

送信映像(画像)にフレームをつけたいとき(フレーム)

映像にフレームをつけて送ることができます。

背景を隠したいときなどに便利です。

ビデオカメラが接続されている場合にのみお使いいただけます。

フレーム機能をご使用になる場合は、ダウンロード用ホームページより好きなフレーム画像をダウンロードしてください。

フレームには、ダウンロードされたフレーム画像のみお使いいただけます。

1 [自分の画面]ウィンドウの[]をクリックする

[自分の画面]ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 [フレーム]の[選択]をクリックし、[フレーム画像の選択]画面を表示させる

3 表示させたいフレーム画像を選んで[適用]を押す

[自分の画面]ウィンドウに、選択したフレーム画像が表示されます。

4 [閉じる]をクリックし、[フレーム画像の選択]画面を閉じる

[表示]のクリックで、フレーム画像の表示・非表示を切りかえます。



送信映像として画像をはりこむとき(キャラクター)

ビデオカメラをお持ちでない場合などに、送信映像としてキャラクター画像をはりこんで送ることができます。

キャラクター画像には、DCF対応のデジタルスチルカメラなどで撮影されたJPEG画像やビットマップ形式のオリジナル画像をご用意ください。

DCF(Design rule for Camera File system)とは、日本電子工業振興協会にて制定された統一規格です。

1 [自分の画面]ウィンドウの[]をクリックする

[自分の画面]ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 [キャラクター]の[選択]をクリックし、[キャラクター画像の選択]画面を表示させる

3 表示させたいキャラクター画像を選んで[適用]を押す

[自分の画面]ウィンドウに、選択したキャラクター画像が表示されます。

4 [閉じる]をクリックして[キャラクター画像の選択]画面を閉じる

[表示]のクリックで、キャラクター画像の表示・非表示を切りかえます。



通話する (つづき)

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

文字だけで通話したいとき(チャット)

文字の入力だけで相手と通話することができます。

- 1 **[相手の画面]ウィンドウの[]をクリックする**
[相手の画面]ウィンドウのオプション画面が開きます。
- 2 **左下の[]をクリックする**
チャット画面が表示されます。
- 3 **[メッセージの送信先]の[]をクリックしてチャットする相手を選ぶ**
- 4 **[メッセージ]ボックスに通話したい内容を文字入力し、右横の[]をクリックする**
[メッセージ]の上のボックスに、チャット内容が表示されます。



チャットを終了するとき:

- 1 **[ファイル] [チャットの終了]を選ぶ**

チャットの内容を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は[はい]を選び、ファイル名と保存場所を指定してください。



お願い/ヒント

チャット中も、ビデオカメラからの映像(画像)や音声は送受信されています。

チャットについての詳しい説明は、NetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

通話する (つづき)

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

絵や文字を描いて通話したいとき(ホワイトボード)

絵や文字をホワイトボードに描いて、相手と通話することができます。

1 [相手の画面]ウィンドウの[]をクリックする

[相手の画面]ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 []をクリックする

ホワイトボード画面が表示されます。

3 ツールを使って、絵や文字を描

ホワイトボード上に通話内容(絵や文字など)が表示されます。

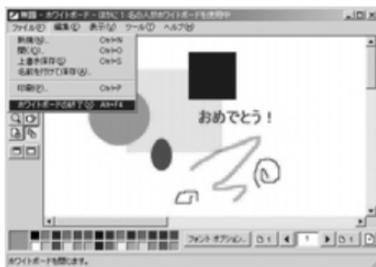
相手先でもホワイトボードが自動的に起動して、同じ内容が表示されます。



ホワイトボードを終了するとき:

[ファイル] [ホワイトボードの終了]を選ぶ

ホワイトボードの内容を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は[はい]を選び、ファイル名と保存場所を指定してください。



お願い/ヒント

ホワイトボード使用中も、ビデオカメラからの映像(画像)や音声は送受信されています。

ホワイトボードについての詳しい説明は、NetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

通話する (つづき)

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

ファイルを転送したいとき

相手にファイルを転送することができます。

1 [相手の画面]ウィンドウの[]をクリックする

[相手の画面]ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 []をクリックする

ファイル転送画面が表示されます。

3 右上の[]をクリックしてファイルを転送する相手を選ぶ

4 []をクリックして、転送するファイルを選ぶ

[ファイル] [ファイルの追加]でも、転送するファイルを選べます。

5 []をクリックする

ファイルがすべて転送されます。

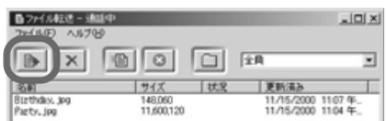
受信側で転送されたファイルを確認するときは:

受信側でファイル転送画面を開き、[]をクリックする

転送されたファイルが入っているフォルダが開きます。

ファイル転送画面を終了するとき:

[ファイル] [ファイル転送の終了]を選ぶ



お願い/ヒント

ファイルの転送中も、ビデオカメラからの映像(画像)や音声は送受信されています。

転送するファイル名は半角英数字のものにしてください。

ファイル転送についての詳しい説明は、NetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

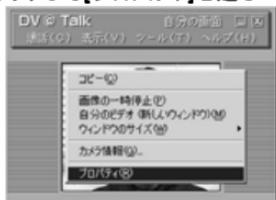
通話する (つづき)

映像(画像)や文字などで相手と通話します。

送信する映像(画像)/音声について

サイズや画質、音声などについての設定は送信側で行います。

1 [自分の画面]に映っている映像(画像)部分を右クリックして[プロパティ]を選ぶ



2 [ビデオ]または[オーディオ]タブを選び、それぞれ必要な設定をする

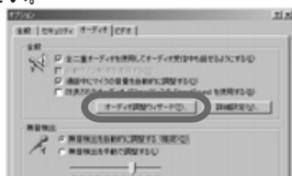


受信する映像(画像)/音声について

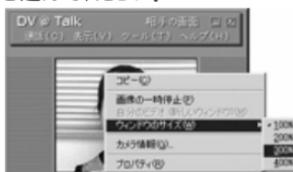
ウィンドウサイズは拡大・縮小できますが、画質は変更できません。ウィンドウサイズを大きくすると、画質が劣化します。

音声・音量は、オプション画面/オーディオ調整ウィザードで調整できます。

オプション画面は、[相手の画面]に映っている映像(画像)部分を右クリックして[プロパティ]を選んでください。



受信映像(画像)部分を右クリックして[ウィンドウのサイズ]を選び、任意の拡大・縮小率(100 ~ 400%)を選んでください。



[相手の画面]・[自分の画面]ウィンドウに映っている映像(画像)部分を右クリックして表示されるメニューを使うと以下のことができます。

コピー: 右クリックしたウィンドウの画像部分をクリップボードにコピーできます。

画像の一時停止: 右クリックしたウィンドウの映像を一時停止状態にします。

自分のビデオ(新しいウィンドウ): 新たに別ウィンドウを開きます。

ウィンドウのサイズ: ウィンドウのサイズを変更します。

カメラ情報: マイクロソフトのホームページにつながります。

プロパティ: オプション画面を開きます。

この機能はNetMeetingの機能なので、詳しくはNetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

お願い/ヒント

Windows Meをお使いの場合、プロパティ画面の[送信映像のサイズ]で[大]を選んで相手が送信していても、[大]のサイズにはなりません。

録画した映像(画像)を送る

ビデオカメラで記録した映像(動画)や静止画像を相手に送ることができます。

当社製デジタルビデオカメラをお使いの場合は、DV@Talkから操作を制御することができます。(P24・25)
もし、DV@Talkから制御できない場合は、手動でビデオカメラを操作してください。

- | | | |
|----------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 映像(動画)を送る場合：
ビデオカメラを再生モードにする | 静止画像を送る場合：
ビデオカメラをカード再生モードにする |
|----------|---------------------------------|----------------------------------|

- 2** ビデオカメラで再生を始める
再生映像(画像)が送信されます。

映像(画像)の送信をやめるときは

映像(画像)の再生を停止する

テレビ電話としてリアルタイムの映像を送信したいときは、ビデオカメラを撮影モードに戻してください。

お願い/ヒント

再生 / カード再生モードで映像(画像)を送っているときは、マイクからの音声は送受信されません。その場合は、チャット(P19)かホワイトボード(P20)をお使いください。

ビデオカメラを DV@Talk から操作する

ビデオカメラの操作モードの変更や、画面の拡大・縮小、再生操作などを DV@Talk から制御することができます。また、相手側のビデオカメラを制御することもできます。

送信側 / 受信側の制御したいビデオカメラ映像(画像)の映っているウィンドウのオプション画面を出しておいてください。

オプション画面は、[ / ]をクリックして開いてください。

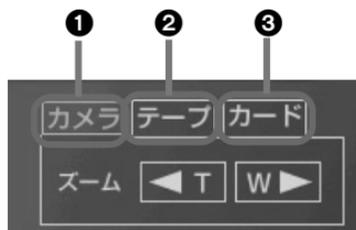
相手側のビデオカメラを制御するときは、相手の[自分の画面]ウィンドウ - オプション画面中の[相手からの操作を許可する]にチェックを入れておいてもらってください。



操作モードの変更

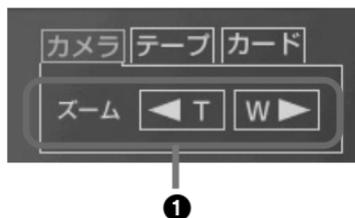
操作モードの切り替えは、変更したいモードのタブをクリックしてください。

- 1 **カメラ:** ビデオカメラに映っているリアルタイム映像(画像)を送るときのモードです。(撮影モード)
- 2 **テープ:** ビデオカメラで記録したテープ映像を再生して送るときのモードです。(再生モード)
- 3 **カード:** ビデオカメラで記録したカードのメモリー画像を再生して送るときのモードです。(カード再生モード)



カメラモード(撮影モード)

- 1 **ズーム** T: 大きくズームイン
W: 広く(広角に)ズームアウト



お願い/ヒント

カメラモード(撮影モード)でのご使用時は、カセットの誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているテープをビデオカメラに入れておかれることをおすすめします。

ビデオカメラを DV@Talk から操作する (つづき)

ビデオカメラの操作モードの変更や、画面の拡大・縮小、再生操作などを DV@Talk から制御することができます。また、相手側のビデオカメラを制御することもできます。

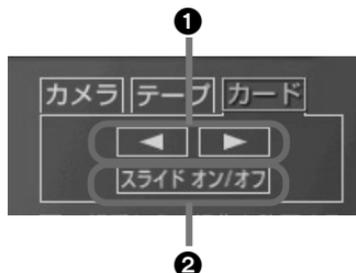
テープモード(再生モード)

- 1 停止: テープ走行を停止します。
- 2 再生: テープの再生をします。
- 3 一時停止: 静止画再生をします。
- 4 巻戻し: テープの巻戻しをします。
- 5 早送り: テープの早送りをします。
- 6 巻戻し再生: 巻戻し再生をします。
- 7 早送り再生: 早送り再生をします。



カードモード(カード再生モード)

- 1 メモリー再生 カードのメモリー画像を送り / 戻します。
- 2 スライド オン / オフ: カードのメモリー画面を数秒間ずつ連続再生したり、その再生を止めたりします。



制御時に機能制限のある機種について

お使いのビデオカメラによっては、DV@Talk から制御できない場合があります。その場合は手でビデオカメラを操作してください。制御できないビデオカメラの場合、オプション画面の制御部分を選べないようになっています。右表が制御できない主なビデオカメラの一覧です。

NV-DE3	NV-DS5
NV-DJ100	NV-DS7
NV-DS80K	NV-C1
NV-C2	NV-DS9

当社製以外のデジタルビデオカメラは、基本的にカメラの画像・音声の送信はできますが、DV@Talkからの操作制御などはできません。また、テープの画像については保証できません。

お願い/ヒント

DV@Talk からビデオカメラを制御する場合のボタン操作は、ビデオカメラ本体のボタン操作とは異なる場合があります。

再生 / カード再生モードで映像(画像)を送っているときは、マイクからの音声は送受信されません。その場合は、チャット(P19)かホワイトボード(P20)をお使いください。

アクセスメンバーを登録する

頻繁にアクセスする相手をメンバーとして登録しておく便利です。

メンバーの登録は、DV@Talk 側ではなく MSN Messenger Service 側で行います。

1 MSN Messenger Service で、[ファイル] [メンバーの追加]を選ぶ



2 メンバリストへの追加形式を選んで、[次へ]をクリックする

電子メールアドレス:

相手の電子メールを入力して登録

メンバーの検索

相手の姓名から検索して登録



3 それぞれの画面で必要な項目を入力して、[次へ]をクリックする



[電子メール]画面



[メンバーの検索]画面

4 [完了]をクリックして、メンバー登録を終了する



お願い/ヒント

電子メールアドレスでメンバー登録される場合は、相手が MSN Messenger Service に登録しているアドレスを入力してください。

メンバー登録についての詳しい説明は、MSN Messenger Service のヘルプファイルをお読みください。

[相手の画面]ウィンドウ

- ① オプション画面を開きます。
- ② 相手との通話を切断します。
- ③ ダイアルアップネットワークで接続します。
- ④ 受信状態 / 受信側の接続状態を表示します。
- ⑤ [自分の画面]ウィンドウを表示させます。
- ⑥ 相手の機器を操作できるかどうかを表示します。
- ⑦ オプション画面を開きます。
- ⑧ スピーカーやマイクの音量を調節します。
- ⑨ 通話メニュー

相手先 IP アドレス:

相手の IP アドレスを直接入力します。

回線を切断:

相手との通話を切断します。

DV@Talk の終了:

DV@Talk を終了します。

- ⑩ 表示メニュー

自分の画面:

[自分の画面]ウィンドウの表示 / 非表示を切りかえます。

- ⑪ ツールメニュー

オプション:

NetMeeting のオプションを表示します。

詳しくは NetMeeting のヘルプファイルをお読みください。

- ⑫ ヘルプメニュー

Panasonic オンラインサポート:

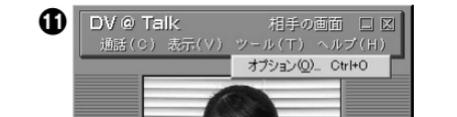
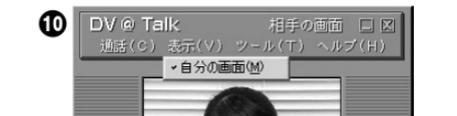
インターネットに接続していると、Panasonic のダウンロード用ホームページ画面が表示されます。

当社製のデジタルビデオカメラをお使いの場合で、機種名などが正しく表示されないときは、このページから該当するソフトウェアをダウンロードしてください。

バージョン情報:

現在お使いのソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

自分のパソコンの IP アドレスが表示されます。



[自分の画面]ウィンドウ

- 1 オプション画面を開きます。
- 2 [自分の画面]ウィンドウを非表示にします。
- 3 接続しているビデオカメラを表示します。
- 4 自分のビデオカメラ映像の表示・非表示を切りかえます。
- 5 オプション画面を閉じます。



6 通話メニュー

送信:

自分のビデオカメラ映像の表示・非表示を切りかえます。

7 表示メニュー

Messenger Service:

MSN Messenger Service を起動させます。

8 ツールメニュー

オプション:

NetMeeting のオプションを表示します。

詳しくは NetMeeting のヘルプファイルをお読みください。

9 ヘルプメニュー

バージョン情報:

現在お使いのソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

自分のパソコンの IP アドレスが表示されません。



こんなときは・・・(Q & A)

よく起こるトラブルについて説明しています。

接続

❓ 相手につながらない

- 相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。
- インターネットのプロバイダーを経由する場合、サーバーやルーターを介して接続すると、正しくアクセスできない場合があります。また、直接プロバイダーにダイヤルアップする場合でも、ご利用のプロバイダーがグローバルIPを供給していない場合は正しくアクセスできません。グローバルIPに関しては、ご利用のプロバイダーに直接お問い合わせください。

- 通話したい相手のパソコンにDV@Talk製品版が入っているかどうかお確かめください。DV@Talk SP同士での通話はできません。

通話

❓ 映像(画像)が映らない

- ビデオカメラの接続や操作モードなどの設定を確認してください。
- DV@Talk相手を正しく招待できているか確認してください。

❓ 音声が届きにくい

- ヘッドホンのご使用をおすすめします。

その他

❓ スタンバイなどの省電力モードで電源が切れない

- DV@Talkの起動中はドライバーが動いているため、省電力モードから電源を切ることはできません。

❓ パソコンがスタンバイ、または休止状態にならない

- DV@Talkの起動中は、スタンバイ、または休止状態にならない場合があります。

❓ 接続している当社製デジタルビデオカメラの機種名が[UNSUPPORTED]になっている

- [相手の画面] ウィンドウの[ヘルプ] [Panasonicオンラインサポート]を選んでPanasonicのダウンロード用ホームページにアクセスし、該当するソフトウェアをダウンロードしてください。

用語解説

IPアドレス

インターネットなどのネットワークに接続されたコンピュータ1台1台に割り振られた識別番号のことです。

ダイヤルアップ

電話回線を利用した接続のことで、インターネットへの接続方法のひとつにダイヤルアップ IP 接続があります。電話回線(アナログまたは ISDN)でプロバイダーと接続し、インターネットの利用に必要な IP アドレスなどを一時的に提供してもらいます。

プロバイダー

主に、インターネット接続サービスを提供する通信事業者のことです。

LAN

Local Area Network の略。オフィス内や学校内など、限定された場所でのコンピュータネットワークのことです。

NetMeeting/MSN Messenger Service

Microsoft 社のインスタントメッセージング用ソフトウェアのことです。

インスタントメッセージング

インターネット接続しているユーザー同士で、簡単なメッセージをやりとりできるサービスのことで

索引

ア行

[相手の画面]ウィンドウ	12・27
インストール	6

カ行

カメラモード	24
カードモード	25
キャラクター	18

サ行

[自分の画面]ウィンドウ	12・28
使用許諾書	裏表紙
招待	11・13
接続	9

タ行

ダイヤルアップ接続	11
チャット	19
テープモード	25

ハ行

ファイル転送	21
フレーム	18
ホワイトボード	20

マ行

メンバの追加	26
--------------	----

アルファベット順

IP アドレス	15・30
MSN Messenger Service	4・30
NetMeeting	4・30

使用許諾書

DV@Talk SPの使用許諾書です。

ソフトウェア使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件となっています。

第1条 権利

お客様は、本ソフトウェア 同梱のCD-ROMや取扱説明書などに記録または記載された情報のこと(をいいます)の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条 コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第4条 使用コンピュータ

本ソフトウェアは、コンピュータ1台に対しての使用とし、複数台のコンピュータで使用することはできません。

第5条 変更及び改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第6条 アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良などの情報をお知らせいたします。但し、これにより弊社がお客様によりお問い合わせいただきました不具合を完全に修正することを保証するものではありません。

第7条 免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第8条 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

販売元 松下電器産業株式会社 ビデオ事業部

〒571-8504

大阪府門真市松生町1番15号

お問い合わせ先

お客様ご相談センター ☎ 0120-878-365 パナは 365日
フリーダイヤル(料金無料) 365日 / 受付 9時 ~ 20時

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部

〒571-8504

大阪府門真市松生町1番15号

放送システム事業部

〒571-8503

大阪府門真市松葉町2番15号

© Matsushita Electric Industrial Co Ltd (松下電器産業株式会社) 2000